

先週の礼拝メッセージ(2023年7月30日) ベン牧師

「救いが来た」 ルカによる福音書 19:1-10

今日はザアカイのお話です。彼の職業は、支配国ローマに収める税金を同胞ユダヤ人から集める徴税人で、しかもその頭でした。当時、徴税人は決められた税金額に自由に上乘せして集め、その差額で私腹を肥やしていました。ですから、聖書にもあるように金持ちでした。しかし、ローマの手先となって、不正な方法でユダヤ人からお金を搾り取っている徴税人は、皆から嫌われていました。7節ではザアカイのことを「罪深い男」と人々は呼んでいます。そんな彼がイエス様に会いたいと願ったのです。理由は記されていませんが、お金はあっても、彼の心には寂しさや虚しさがあったのではないのでしょうか。彼はイエス様のもとにいくのですが、背が低くて見る事ができません。それで先回りして、いちじく桑の木に登りました。するとイエス様の方から「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、あなたの家に泊まることにしている。」と声をかけられるのです。ザアカイは大喜びで木から降りて、イエス様を家に迎え入れます。なぜイエス様はザアカイの名を知っておられたのでしょうか。イエス様は神様だからなんでも知っているとも言えるかもしれませんが、イエス様の弟子にマタイという人がいます。彼は元徴税人ですから、彼からザアカイのことを聞いておられたのかもしれませんが、また、ザアカイもイエス様が徴税人を弟子とされたということに、少なからず驚きを覚えていたのでしょうか。高名なラビは決して徴税人などに近づいたり、口を聞いたりしませんし、ましてや弟子にするなどありえないことでした。それなのにイエス様はマタイを弟子とされていたのです。このことも、ザアカイがイエス様に会いたい、話を聞きたいと思った理由の一つかもしれません。

一方、その様子を見ていた群衆は、イエス様がザアカイの家の客となられたことにつまづきました。人々が嫌悪し口もきかない徴税人の家に行くということは、イエス様はザアカイと同等のところに入ったことを意味します。普通の宗教の指導者なら絶対にしないことをイエス様はされたのです。今の私たちにはこの出来事が、罪のないイエス様が私たち罪人の立場に立ってくださったことだとわかります。それどころか、私たちの罪を全て負って罪人として十字架にかかってくださいました。ザアカイはイエス様の言葉に真剣に耳を傾けたことでしょう。そして彼は、「主よ、私は財産の半分を貧しい人々に施します。また、誰からでも、だまし取った物は、それを四倍にして返します。」と告白するのです。

実は、この話のすぐ前ルカ18章には、金持ちの青年がイエス様のもとに来て、永遠のいのちを得るにはどうすれば良いかを尋ねる記事がありま

す。(18:18-23) イエス様が彼にモーセの十戒を守るように言われると、彼は子供の時から守っていますと胸を張ります。そこでイエス様は、持っている物をすべて売り払い、貧しい人々に分けてやり、私に従いなさいと答えられます。それを聞いて彼は悲しんでイエス様のもとから去っていくのです。

ルカの福音書はこの青年とザアカイを対比しているのです。青年は金持ちでユダヤの議員で、人々から尊敬される立場の人でした。しかしイエス様の言葉に従うことはできず去ってしまいました。一方、人々から嫌われているザアカイが、イエス様と出会って自分から全財産をなげうったという対比です。イエス様はザアカイが全財産を手放したから救いが来たとおっしゃったのではありません。彼がイエス様をメシアとして受け入れ、彼の心が変えられたからこそ、その証しとして彼自身の財産をもって不正の罪を償うという行為が出て来たのです。彼の証しがあって、イエス様は救いはこの家に来たとおっしゃったのです。18章の青年は、口ではイエス様のことを善い先生と呼んでいますが、最後までイエス様をメシアとして受け入れることはなく、去ってしまいました。これが彼の心の表れでした。

私たちが救われている証しは、どのように表れているのでしょうか。時々、信仰は心の問題だから外には見えないということをお聞きしますが、果たして本当でしょうか。救われた喜び、イエス様を愛する愛は、私たちの生活や価値観を変え、主の証の行動となって現れてくるのではないのでしょうか。救いの最大の証は、罪を憎むということです。(Iヨハネ3:6)たとえば今まで悪口を言っても平気でいたのに、イエス様を信じ聖霊をいただいた時から、悪口を聞くのも嫌になる、心が痛むようになる、、これは聖霊の働き、救いの証です。もし、弱さのゆえに失敗したり罪を犯したりすることがあっても、主の前に悔い改め十字架を仰ぐという行為となるでしょう。

ザアカイにとって財産は彼の人生を支えるものだったかもしれませんが、しかし、どんなに莫大な財産であっても、比べ物にならないほどの素晴らしい救いを彼はいただいたのです。

私たちもそうではありませんか？ イエス様が私たちの罪をすべて負って十字架で死んでくださり、私たちは罪を赦されました。そして聖霊が内に住んでくださり、日々導いてくださるのです。弱さも欠けもある私たちですが、何もかも私たちの心から平安や喜びを奪うことはできません。だからこそ、喜びが証しとなって表れてくるのです。

「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。」